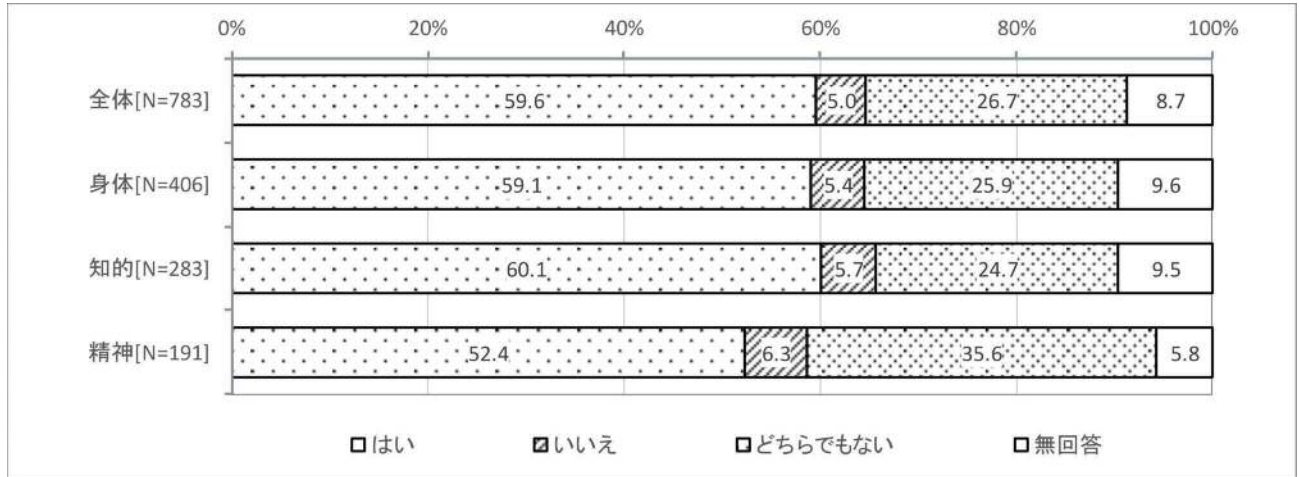


(11) 芦屋市の取り組みについて

① 暮らしやすさ

暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと思う人（「はい」）」が59.6%、「どちらでもない」が26.7%、「暮らしにくいと思う人（「いいえ」）」が5.0%となっています。

図表 108 芦屋市は暮らしやすいまちか[N=783]



前回調査と比較すると、「暮らしやすいと思う（「はい」）」と回答した人の割合は、知的障がいのある人が高く、身体障がいのある人、精神障がいのある人で低くなっています。また「どちらでもない」と回答した人の割合は、知的障がいのある人で低くなっています。

図表 109 芦屋市は暮らしやすいまちか（前回調査との比較）

	身体		知的		精神	
	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度
N=	429	406	266	283	159	191
はい	62.0	59.1	50.8	60.1	56.6	52.4
いいえ	6.5	5.4	6.8	5.7	9.4	6.3
どちらでもない	28.7	25.9	37.2	24.7	31.4	35.6
無回答	2.8	9.6	5.3	9.5	2.5	5.8

② 障がい者（児）施策で期待・重要視するもの

障がい者（児）施策で期待・重要視するものは、「サービス利用の手続きを簡単にする」が31.0%、「何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする」が25.7%、「市役所からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする」が24.5%となっています。

知的障がいのある人は「保育所・幼稚園などと小・中・高等学校などがつながり、本人の将来を考えた教育を支援する体制の充実」「グループホームなどの住む場所を増やす」「子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を学校や施設等に引き継いでいく仕組みの充実」の割合が高くなっています。精神障がいのある人は「差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす」の割合が他の障がい種別よりも高くなっています。

図表 110 障がい者（児）施策で期待・重要視するもの[N=783]（5つまで回答）

	全体	身体	知的	精神
N=	783	406	283	191
障がいに対する地域の理解を進めるための 広報啓発活動を充実する	14.0	13.1	12.7	18.3
何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする	25.7	25.4	19.1	32.5
サービス利用の手続きを簡単にする	31.0	31.0	27.9	33.0
市役所からの福祉に関する情報をもっと多く、 もっとわかりやすくする	24.5	26.8	17.3	30.9
保健や福祉の専門的な人を増やす	16.1	14.3	19.4	16.8
参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす	11.4	10.1	15.2	8.4
いろいろなボランティア活動を増やす	3.3	3.4	3.5	2.1
在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす	11.1	11.3	11.0	9.4
障がいのある人が身近な地域で 医療・リハビリが受けられる医療を充実する	17.2	19.5	20.1	10.5
障がいを早期に発見し次につなげる 健診・相談・指導体制を充実する	8.2	6.4	11.0	11.0
障がいのある人の地域生活を支えるため、 財産管理などを支援する権利擁護を推進する	6.5	3.0	12.0	6.8
障がいがあってもなくても、ともに学べるような 保育・教育内容をさらに推進する	15.7	14.0	20.8	8.4
保育所・幼稚園などと小・中・高等学校などがつながり、 本人の将来を考えた教育を支援する体制の充実	17.6	8.9	30.4	11.0
子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を 学校や施設等に引き継いでいく仕組みの充実	16.3	9.4	29.7	8.4
障がいのある人の地域生活を住民同士が助け合い 支援していく活動を増やす	7.4	7.4	7.4	8.9
生活訓練のできる、通える施設を増やす	8.6	5.2	16.6	4.7
仕事に就くための訓練や働く場を増やす	23.8	19.7	24.7	30.9
障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる 機会や場を増やす	8.0	8.4	6.7	8.4
利用しやすいよう道路・建物などをバリアフリー化する	16.0	24.1	9.2	7.9
グループホームなどの住む場所を増やす	15.6	8.4	30.0	13.1
災害時の避難体制を整える	15.1	19.5	11.0	12.0
防犯対策を充実する	8.0	10.3	4.2	8.4
差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす	13.4	9.1	14.5	23.0
その他	5.7	5.7	4.9	8.4
無回答	10.0	11.3	7.8	9.4

年齢別にみると、17歳以下は「保育所・幼稚園などと小・中・高等学校などがつながり、本人の将来を考えた教育を支援する体制の充実」「子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を学校や施設等に引き継いでいく仕組みの充実」「障がいがあってもなくても、ともに学べるような保育・教育内容をさらに推進する」など、教育に関することが多く挙がっています。また、18～39歳で「グループホームなどの住む場所を増やす」の割合が高くなっています。

図表 111 障がい者（児）施策で期待・重要視するもの[N=783]（5つまで回答）

	全体	17歳以下	18～39歳	40～59歳	60歳以上
N=	783	118	194	349	102
障がいに対する地域の理解を進めるための 広報啓発活動を充実する	14.0	11.0	14.9	15.5	10.8
何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする	25.7	17.8	22.7	31.5	21.6
サービス利用の手続きを簡単にする	31.0	27.1	29.9	34.4	26.5
市役所からの福祉に関する情報をもっと多く、 もっとわかりやすくする	24.5	14.4	22.2	27.2	31.4
保健や福祉の専門的な人を増やす	16.1	32.2	11.3	16.3	7.8
参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす	11.4	10.2	16.5	9.7	8.8
いろいろなボランティア活動を増やす	3.3	0.8	4.1	3.7	2.0
在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす	11.1	6.8	10.8	12.0	14.7
障がいのある人が身近な地域で 医療・リハビリが受けられる医療を充実する	17.2	22.9	18.6	15.2	15.7
障がいを早期に発見し次につなげる 健診・相談・指導体制を充実する	8.2	11.0	10.3	7.7	2.9
障がいのある人の地域生活を支えるため、 財産管理などを支援する権利擁護を推進する	6.5	13.6	5.7	6.6	1.0
障がいがあってもなくても、ともに学べるような 保育・教育内容をさらに推進する	15.7	33.9	18.0	10.6	8.8
保育所・幼稚園などと小・中・高等学校などがつながり、 本人の将来を考えた教育を支援する体制の充実	17.6	57.6	14.9	10.6	3.9
子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を 学校や施設等に引き継いでいく仕組みの充実	16.3	49.2	18.0	8.6	4.9
障がいのある人の地域生活を住民同士が助け合い 支援していく活動を増やす	7.4	5.1	8.2	8.6	5.9
生活訓練のできる、通える施設を増やす	8.6	18.6	10.8	5.7	3.9
仕事に就くための訓練や働く場を増やす	23.8	28.0	28.4	24.4	11.8
障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる 機会や場を増やす	8.0	5.1	9.3	8.9	4.9
利用しやすいよう道路・建物などをバリアフリー化する	16.0	7.6	11.3	18.6	24.5
グループホームなどの住む場所を増やす	15.6	11.9	28.9	11.7	6.9
災害時の避難体制を整える	15.1	8.5	13.4	17.5	17.6
防犯対策を充実する	8.0	4.2	4.6	11.5	7.8
差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす	13.4	11.0	21.6	11.2	7.8
その他	5.7	9.3	3.6	5.7	3.9
無回答	10.0	3.4	9.3	10.3	16.7

前回調査と比較すると、特に「サービス利用の手続きを簡単にする」「子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を学校や施設等に引き継いでいく仕組みの充実」「生活訓練のできる、通える施設を増やす」が3障がい種別ともに大きく割合が低くなっています。その他では、知的障がいのある人で「仕事に就くための訓練や働く場を増やす」「市役所からの福祉に関する情報をもっと多く、もっとわかりやすくする」「グループホームなどの住む場所を増やす」「障がいのある人の地域生活を住民同士が助け合い支援していく活動を増やす」が、精神障がいのある人は「保健や福祉の専門的な人を増やす」などの割合が低くなっています。

図表 112 障がい者（児）施策で期待・重要視するもの（5つまで回答）（前回調査との比較）

	身体		知的		精神	
	平成 28年度	令和 元年度	平成 28年度	令和 元年度	平成 28年度	令和 元年度
N=	429	406	266	283	159	191
障がいに対する地域の理解を進めるための 広報啓発活動を充実する	15.2	13.1	17.3	12.7	21.4	18.3
何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする	32.9	25.4	22.9	19.1	39.0	32.5
サービス利用の手続きを簡単にする	38.7	31.0	35.0	27.9	39.6	33.0
市役所からの福祉に関する情報をもっと多く、 もっとわかりやすくする	29.1	26.8	27.4	17.3	26.4	30.9
保健や福祉の専門的な人を増やす	14.9	14.3	18.0	19.4	25.2	16.8
参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす	14.2	10.1	21.1	15.2	13.8	8.4
いろいろなボランティア活動を増やす	5.6	3.4	6.0	3.5	6.3	2.1
在宅での生活や介助がしやすいサービスを増やす	15.2	11.3	10.5	11.0	15.1	9.4
障がいのある人が身近な地域で 医療・リハビリが受けられる医療を充実する	25.9	19.5	24.4	20.1	13.8	10.5
障がいを早期に発見し次につなげる 健診・相談・指導体制を充実する	9.1	6.4	12.8	11.0	13.2	11.0
障がいのある人の地域生活を支えるため、 財産管理などを支援する権利擁護を推進する	7.5	3.0	12.0	12.0	13.2	6.8
障がいがあってもなくても、ともに学べるような 保育・教育内容をさらに推進する	13.1	14.0	21.4	20.8	10.1	8.4
保育所・幼稚園などと小・中・高等学校などがつながり、 本人の将来を考えた教育を支援する体制の充実	11.7	8.9	33.8	30.4	10.7	11.0
子どもの成長に合わせて、その子の特徴や支援経過を 学校や施設等に引き継いでいく仕組みの充実	15.4	9.4	35.7	29.7	13.8	8.4
障がいのある人の地域生活を住民同士が助け合い 支援していく活動を増やす	10.0	7.4	15.4	7.4	11.9	8.9
生活訓練のできる、通える施設を増やす	9.8	5.2	25.2	16.6	14.5	4.7
仕事に就くための訓練や働く場を増やす	19.3	19.7	36.8	24.7	34.6	30.9
障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる 機会や場を増やす	9.3	8.4	12.0	6.7	12.6	8.4
利用しやすいよう道路・建物などをバリアフリー化する	26.8	24.1	7.1	9.2	9.4	7.9
グループホームなどの住む場所を増やす	12.4	8.4	38.3	30.0	15.1	13.1
災害時の避難体制を整える	21.9	19.5	14.3	11.0	14.5	12.0
防犯対策を充実する	11.4	10.3	9.0	4.2	10.7	8.4
差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす	15.2	9.1	20.7	14.5	25.2	23.0
その他	4.2	5.7	5.3	4.9	5.0	8.4
無回答	9.6	11.3	11.7	7.8	11.9	9.4

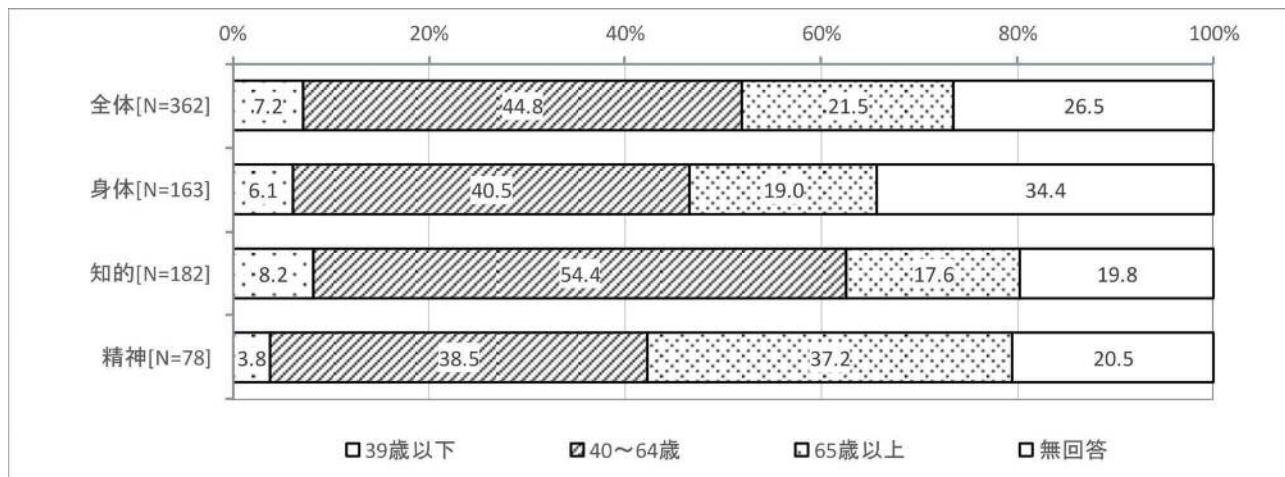
(12) 介護者の状況について

① 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢は、「40～64歳」が44.8%、「65歳以上」が21.5%、「39歳以下」が7.2%となっています。

対象者（障がいのある人）の障がい種別にみると、精神障がいのある人の介護者は「65歳以上」の割合が高くなっています。

図表 113 主な介護者の年齢[N=362]

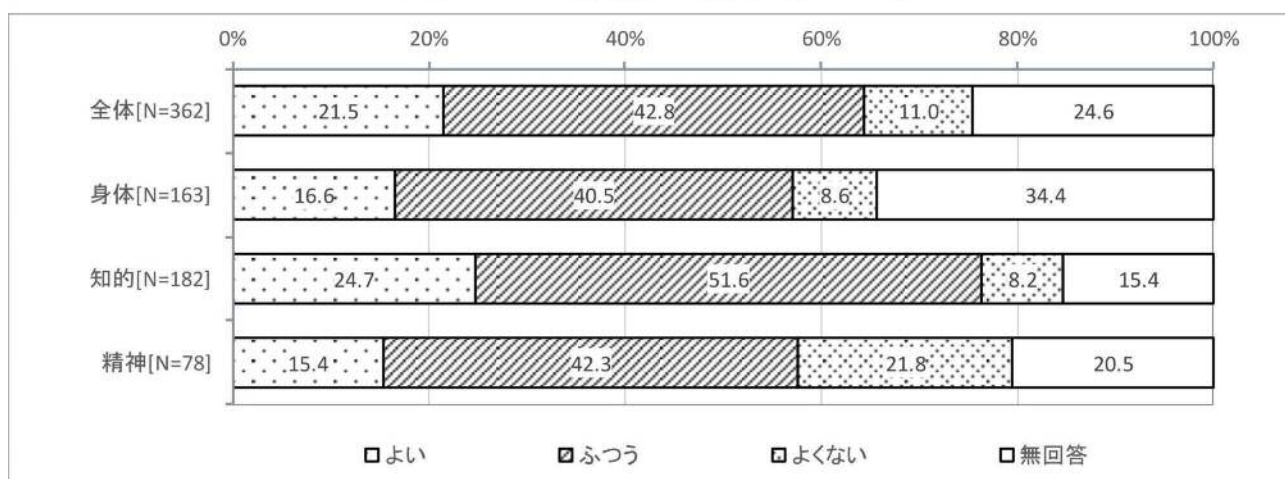


② 主な介護者の健康状態

主な介護者の健康状態は、「ふつう」が42.8%、「よい」が21.5%、「よくない」が11.0%となっています。

精神障がいのある人の介護者は「よくない」の割合が高くなっています。

図表 114 主な介護者の健康状態[N=362]

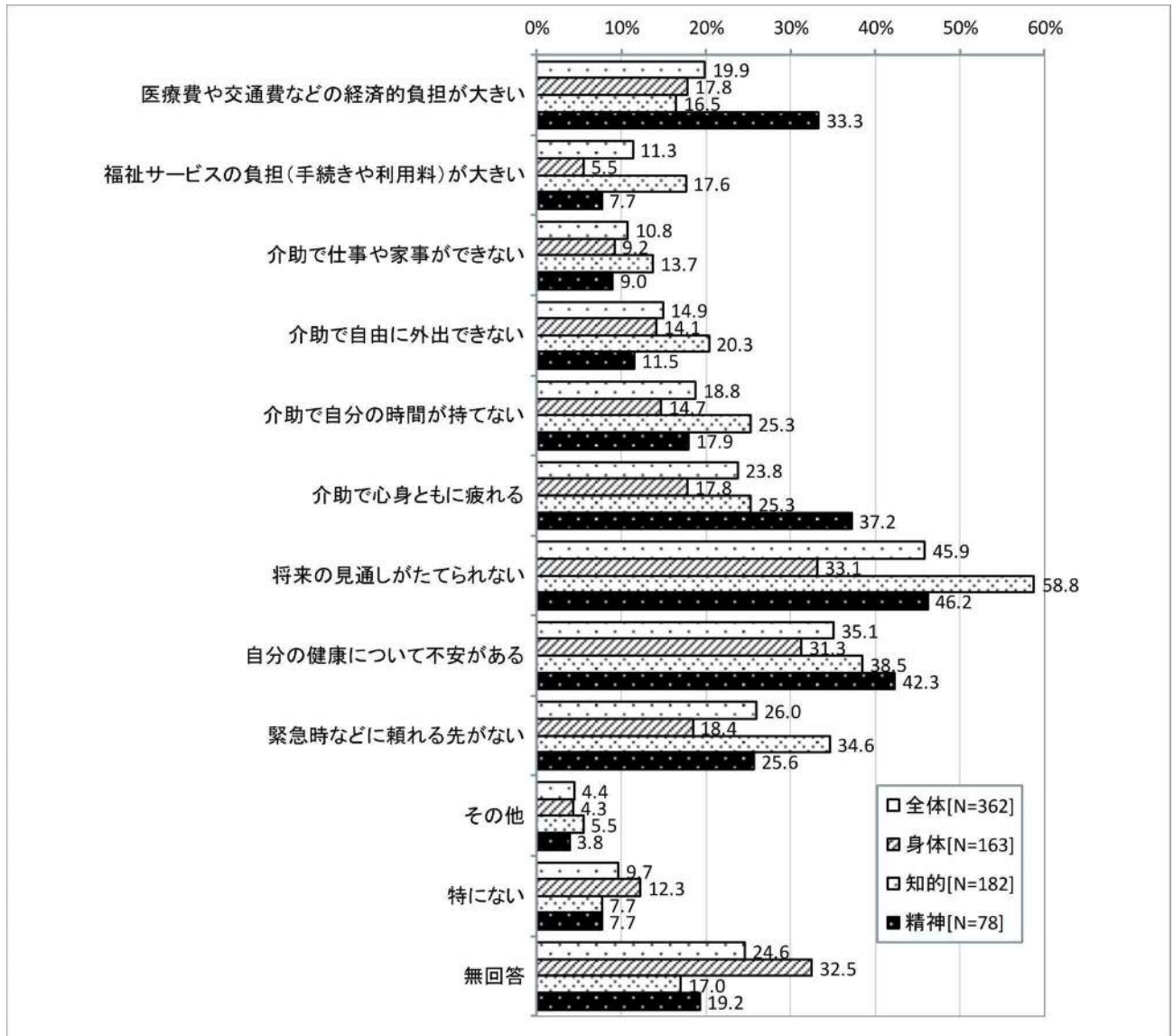


③ 介護をするうえで困っていること・不安なこと

介護者が介護をするうえで困っていること・不安なことは、「将来の見通しがたてられない」が45.9%、「自分の健康について不安がある」が35.1%と高い割合になっています。

知的障がいのある人の介護者は「将来の見通しがたてられない」、精神障がいがある人の介護者は「介助で心身ともに疲れる」「医療費や交通費などの経済的負担が大きい」が他の障がい種別と比較して割合が高くなっています。

図表 115 介護をするうえで困っていること・不安なこと[N=362]（複数回答）



対象者の年齢別にみると、17歳以下の人介護者は「将来の見通しがたてられない」「福祉サービスの負担（手続きや利用料）が大きい」「介助で仕事や家事ができない」、18～39歳の人介護者は「将来の見通しがたてられない」の割合が高くなっています。

図表 116 介護をするうえで困っていること・不安なこと[N=362]（複数回答）

